



## 薬剤部のご紹介



当院薬剤部は薬剤師6名、事務職員1名、調剤助手2名で日々の業務を行っています。薬剤部では、外来患者さんの処方調剤、入院患者さんの処方調剤および1週間分の内服薬個人セット、入院患者さんの翌日投与予定の注射薬個人セット、入院時の持参薬鑑別、抗がん剤の管理・調製、各部署への薬品の払出などを行っています。

外来窓口では患者さんからの質問やご要望をお聞き、他院から貰っている

薬との飲み合わせや、副作用、薬の飲み方・使い方などの指導を行っています。

入院でも処方に対する飲み合わせや重複投与などを確認、注射薬の確認、病棟服薬指導など行いながら、医師や他職種スタッフと連携をしています。

少ない人数ではありますが、患者さんの薬に対する不安や疑問などを少しでも解消できるよう心掛けておりますのでお声掛けください。



## 院長のつぶやき



健康日本21では、主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底が目標に掲げられ、「糖尿病」が取り上げられています。糖尿病性腎症による年間新規透析導入の減少、治療継続者の割合の増加、血糖コントロール不良者の減少、糖尿病有病者の抑制、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少、特定健診・特定保健指導の増加などが目標です。当院では、糖尿病・生活習慣病予防治療センターで、医師・薬剤師・看護師・理学療法士・事務系職員など多職種で、これらに取り組んでくれています。まさに「全集中の呼吸」で！！



## 看護学生 高齢者実習

当院は、新潟医療福祉大学、国際メディカル専門学校、県立新発田病院附属看護専門学校、県立吉田病院附属看護専門学校、国際医療看護福祉大学校、新発田北蒲原准看護学院の看護学生の臨地実習病院となっています。10月29日～11月27日には、「高齢者看護学実習」で新潟医療福祉大学3年生の看護学生16名が実習を行いました。入院中の患者様のケアを通じて高齢者の特徴や個々の状態に応じた看護ケアを先輩看護師と共に考えながら展開しました。病気や治療だけに目を向けるのではなく、患者様個々の生活の中で培われた価値観や習慣を尊重し、患者様の残された機能を低下させることなく、その人が望むより良い人生を送るために、看護師として果たすべき役割を実感できたといった声が多く、看護学生より聞かれ、実り多い実習となりました。また私達、現場の看護師も看護学生の皆さんと向き合う中で、新たな学びを得て初心にかえり、気持ちをリフレッシュし明日の看護へつなぐ心の糧となりました。

